〔様式　1〕

事 務 事 業 評 価 表

平成１３年度	主要事業計画対象の有無	無		電話	042（769）8283
担当部課名	管理部	学校保健	課	保健	係
事務事業名	児童生徒災害見舞金			事業コード	14121

1 総合計画における位置づけ

			事業開始年度
政　策　名	第　4　章	人間性豊かな子供を育成します	～63 年度
基本施策名	第　1　節	ゆとりある学校教育の創造	
施　策　名	第　2　施策	小・中学校教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市児童生徒災害見舞金条例、同施行規則

3 事業概要

（１）事業の目的

学校の管理下における児童及び生徒の負傷、疾病、身体障害又は死亡につき災害見舞金を贈呈した。

（２）対象（誰、何）

市立小学校児童
５２校、３４，７６０名
市立中学校生徒

対象数	５０，５４３名

（３）平成１３年度事業の内容

見舞金対応件数　９６件
医療見舞金　７５件
歯科見舞金　２１件
決算額　２，６６２千円
報酬　０千円
報償費（見舞金）　２，６６２千円

（４）総合計画･実施計画における概要

（５）個別計画の概要

計　画　名	
計画年次	年度～　年度

4 評価指標

指標名	① 見舞金申請にたいする見舞金支給率	②	③
指標式	見舞金申請（９６件）／見舞金支給（９６件）×１００		
指標設定の意図	保護者の医療経費等の負担の軽減をはかった。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

		平成11年度 実績	平成12年度 実績	平成13年度（評価対象年度） 実績	平成13年度（評価対象年度） 目標	平成14年度 目標
指標①		100.0%	100.0%	a 100.0%	b 100.0%	100.0%
指標②				c	d	
指標③				e	f	
事業費	決算（予算）額	3,300	2,966	2,662	6,126	5,531
	人員・時間数	1名、32時間	1名、32時間	1名、32時間	1名、32時間	1名、32時間
	人件費	134	134	134	134	134
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	3,434	3,100	2,796	6,260	5,665
特定財源		0	0	0	0	0

6 個別評価

(1) 達成度･･･目標をどれだけ達成したか

評 価		
A	A：達成している　(α≧100%)	α＝①、②、③の平均値 ＝ 100.0%
	B：一部達成していない(100%>α≧80%)	
	C：達成していない　(80%>α)	

①	②	③
$\frac{a\ 1.0}{b\ 1.0}$×100= 100.0%	$\frac{c}{d}$×100=	$\frac{e}{f}$×100=

理由：	制度の的確な周知により、相模原市児童生徒災害見舞金条例に基づき申請されたものについて、審査の上全ての申請に対し見舞金を贈呈することができた。

(2) 必要性･･･時代変化に適応した事業内容か

評 価		理由：
A	A：適応している	学校管理下における児童･生徒の怪我等の入院･抜髄に対しての見舞金であり、今後も必要である。
	B：一部適応していない	
	C：適応していない	

(3) 経済性･効率性･･･費用対効果は妥当か

評 価		理由:
A	A：妥当である	条例で定めているものであり妥当と考える。
	B：一部妥当でない	
	C：妥当でない	

(4) 事業の代替性･･･県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評 価		理由：
A	A：代替の可能性ない	市が独自に条例を設け実施している事業であり、可能性は無い。
	B：代替の可能性低い	
	C：代替の可能性高い	

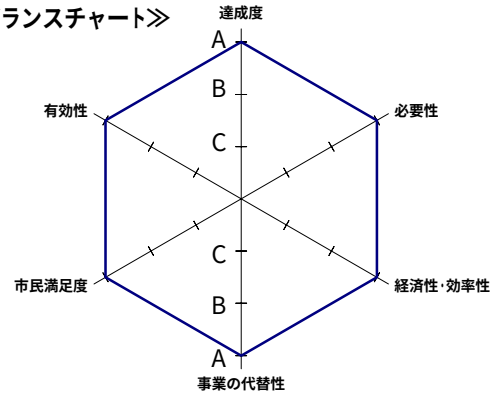
(5) 市民満足度･･･対象市民の満足は得られているか

評 価		理由：
A	A：満足できる	学校管理下における怪我による入院等の見舞金として、保護者の負担軽減の一助として役立たせていただいている。満足は得られている。
	B：一部満足できない	
	C：満足できない	

(6) 有効性･･･当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評 価		理由：
A	A：有効である	学校管理下における怪我による入院等が発生した場合に、速やかな見舞よる本人への激励と保護者へ見舞金を贈呈することが出来、学業への早期復帰に大きな役割を担っている。
	B：一部有効である	
	C：有効でない	

≪評価バランスチャート≫



成果向上の余地

☐ ある ☑ ない	説明： 事業の性格上、成果の向上を目指すことはなじまない。

コスト改善余地

☐ ある ☑ ない	説明： 社会的状況の変化により、見直すことがあると思われるが、現在は余地は無い。

7 総合評価

評 価	
AAA	
★ ★ ★ ★ ★	

今後の進め方	
☑	継　続
☐	見 直 し
☐	廃　止
☐	完　了

他自治体の類似事業との比較	
説明	学校管理下での児童･生徒の災害に伴う入院等に対する見舞金制度であり、緊急時の一助としていただいているものと考える。今後も継続したい。

8 二次評価における変更点